

# ひがし 58/1/20

## 広報 しらかわ

■発行 東白川村役場 ■編集 東白川村役場総務課 ■住所〒 509-13 岐阜県加茂郡東白川村神土548番地  
 ■☎<057478> 3111・内線34 ■印刷 益田郡下呂町 下呂印刷有限会社

	人口の動き
世帯数	936世帯
人口	3,735人
転入	6人
転出	3人
出生	4人
死亡	2人
先月と比較して	5人増
昨年の同月と比較して	2人増



新春恒例の行事となった囲碁の集いが、1月3日午前9時から村民センター老人の部屋で開かれました。今年は例年になく参加者が少なく、寂しい集いとなりましたが、集まつた愛好者らは、今年初の対局に真剣なまなざしで取り組んでいました。

### おもな内容

- 営農対策室を設置…P2~3
- 陰地と下野集会所が完成 …P4
- 消防団出初め式…P5
- 税の窓 ……P6
- 村の文化財 ……P7
- カメラの目 ……P8
- けいじ板は P4~5 の下欄

着々と進められるほ場整備、今後整備後の農地をどう利用するかが課題となっています  
(写真=大明神地内の県営畑総事業)



## 多くの課題と取り組む

### 當農対策室を設置

ほ場整備後の農用地をどのように使うか、そして生産性の高い農業経営を確立し、新しい農業の形を築くためには——これは村の農業の将来へ向けての課題となっていることです。そこでこれに対処するため、村と農協では先ごろ當農対策室を設置しました。當農対策室は、役場の産業振興課内に置かれ、室長以下十四人が多くの課題に取り組み、新しい農業の形づくりを進めて行くことになりました。

昭和五十六年度から始まつたほ場整備事業は、今年度に入り面積が拡大し、本村の全体水田面積の一〇%程度の整備率に達します。

さらに五十八年度からは、県営畑総の西地区での工事が予定されており、田や畑の整備が進められることになります。

こうして新しい農業へ備える基盤づくりが着々と進められていますが、今いちばん重要な課題は、整備後の農地をどのように有効に使い経営していくかということです。

この問題は、ほ場整備の全村

# 農用地の利用を高め 新しい農業の形を築くために

実施後に考えていたのでは遅すぎます。今から整備後を想定した構想を練つておく必要があります。また、個人がバラバラに考えていたのでは解決できませんし、ほ場整備の意義もなくなってしまいます。集落単位、そして村全体として考え、最善の方法を見い出して行く必要があります。

當農対策室は、地域からの意見や情報を取り集め、検討を加えており、当面は次のような課題と取り組むことになっています。

### 転作には 集団化で対処

従来、水田転作は小さな田に大豆や野菜などを植え、面積を消化するという方法で行われてきましたが、ほ場整備後は収益性の高い作物栽培が可能です。現在の転作割り当ては三〇%ですが、これを個々で達成しようとすると、整備された大きな



村長・安江多策

## 総合計画を効果的に推進

明けましておめでとうございます。

昭和58年の新春を健康で明るく迎えられたことを、心からお喜び申し上げ、新年のごあいさつを申し上げます。

昨年は行政改革本番の年として、臨調主導の下で年度当初から厳しい幕明けとなり、本村の基幹産業である農林業や地場木材産業も、経済の成長鈍化と国際化などの影響を受け苦しい年でした。この中で「地域の時代」への始動をよく認識し、集落を中心とする地域住民の総参加による自らの手での村づくりを進められたことには、心から厚くお礼申し上げます。おかげで、活力と均衡のとれた定住条件の形成のための方向を見出すことができました。

本年も相変わらず経済的にも社会的にも厳しさが予想され、一段と苦しい年となるでしょう。こういうときこそ、地域振興を進める上で住民の連帯感が必要であり、厳しい山村の環境の中に発展方向を見出し、活力ある地域づくりのために故郷に自信と誇りを持たなくてはなりません。

豊かな自然を育て心のかよう連帯社会の村を作り上げて行くため、本村の基幹である農林業、地場産業などへ新しい血を導入し、新たな発展の芽を育て時代の要請に合った産業構造、また新しい世代が新しい農村エネルギーとなって躍動できる農村へと大胆に切りかえて行くときだと信じます。

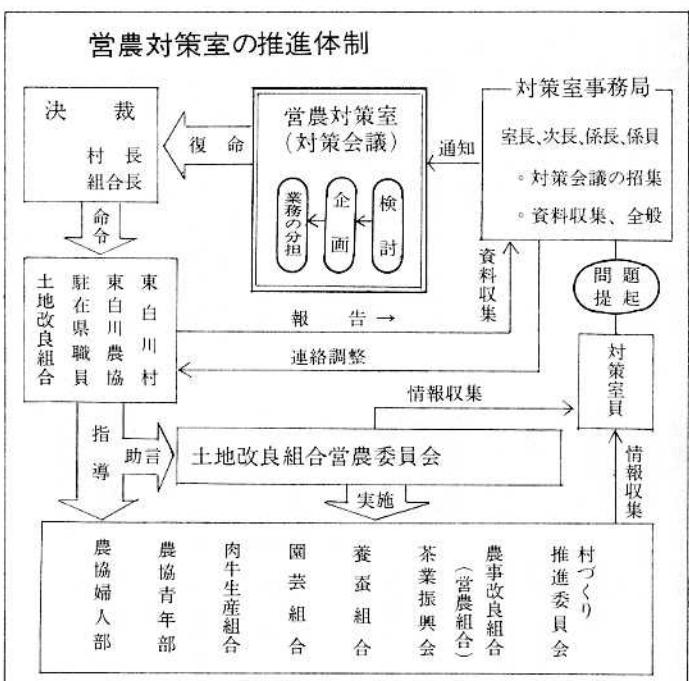
この目標に向かって推し進めて行くのが「村づくり総合計画」であり、話し合いの中で生まれた発展方向を軸に、最も効果的に進めたいと存じます。本年も変わらぬ御協力と御支援をお願いします。

は場整備の済んだ水田の利点は、まず田植えが機械化できるということです。もちろん機械化した田植えが増えれば、今度は育苗施設が必要になります。このように、苗代作りから脱穀に至るまで、従来と違った作

農機具は  
共同利用で  
當農委員會の  
組織を確立

従来、営農ということは個人的な考え方が左右しており、みんなで相談するということはほとんどありませんでした。しかし、ほ場整備後は生産力の大きな農業を確立することが第一の目標ですから、営農計画がいちばんたいせつであり、農

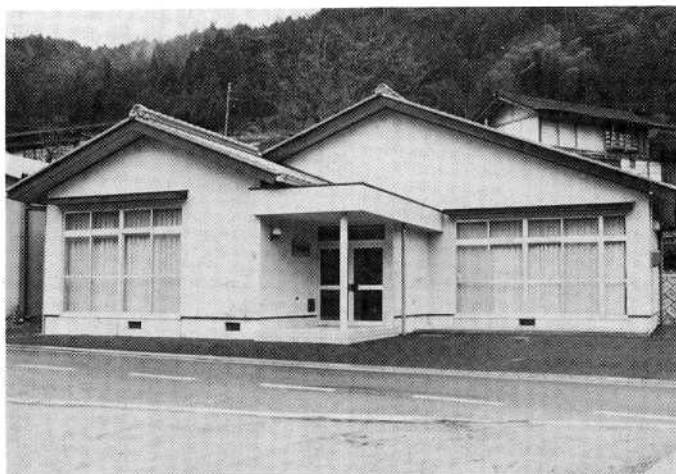
人を育成することも重要な課題となっています。



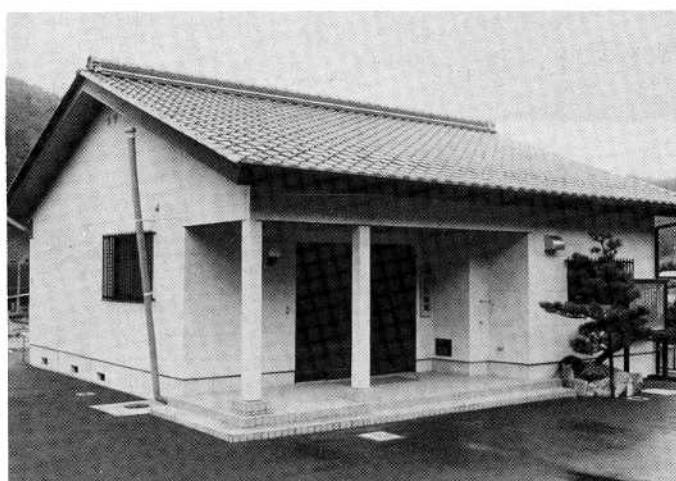
## 連帯意識の高揚にひと役

昨年十月から工事が進められていた、陰地と下野の集会所がこのほど完成しました。

両施設は、転作促進技術研修事業によるもので、水田再編対策に伴う転作作物の生産振興を図るとともに、県営畠総事業実



地域住民の連帯意識を高めるうえで、その利用に期待が寄せられる陰地集会所(写真上)と下野集会所



現に向けての集落内の対話、研修など多目的な利用を通じ、連帯意識の高揚を図り村づくりへの認識をさらに高めて行こうという目的を持つています。

陰地集会場は、総工事費一千八百八万五千円。二百九十九平方

㍍の敷地内に、鉄骨平屋建て百二十一・八平方㍍の建物と駐車場があります。

建物内には、最大六十人収容の大集会室をはじめ、お年寄りや婦人などの会合に便利な十四畳の和室、料理実習などに使用

する調理室などを備えています。

下野集会場は、木造平屋建て七十三・三平方㍍。三十五人収容の和室の集会室と調理実習室を備え、総工事費一千二十八万七千円をかけて完成しました。

## 陰地と下野に集会所が完成



（平）鈴村文隆  
（柳山）安江隆明  
（大沢）今井保都  
（平）傍嶋裕美  
（柳山）知子  
（大沢）優子  
（柳山）智恵美



誕生おめでとうございます

（長男）陽一  
（長男）宜正  
（長男）正義  
（二女）恵美

■戸籍の窓 12月＝敬称略

（古田）茂樹（久須見）  
（村雲）栄美（中通）  
（今井）克典（宮代）  
（鷲見）小百合（白鳥町）  
（平）悦子（渥川）



いつもでも  
おしゃわせに

接それぞれの施設の管理人に電話予約し、当日かぎを借りて使用してください。使用が重なる場合は、先に予約した方が優先となりますので、なるべくお早めに予約した方がよいでしょう。

両施設の管理人は次のとおりです。（敬称略）

（陰地集会所）  
安江 浩（△2622 有線  
3391）

（下野集会所）  
今井日出明（△2828 有線  
2028）



おくやみ  
申しあげます

（古田）茂樹（久須見）  
（村雲）栄美（中通）  
（今井）克典（宮代）  
（鷲見）小百合（白鳥町）  
（平）悦子（渥川）

■善意の寄付＝敬称略  
〔公民館図書室へ〕  
図書二百八十七冊—田口清

村ではこの日、恒例の成人祝賀行事を村民センターで開き、七十九人の「二十歳の門出」を祝いました。

めでたく大人の仲間入りした新成人は次ののみなさん。（敬称略）

【大口】今井敬治、古田昭則

今井初美

【平】安江孝洋、田口浩司、

【下親田】伊佐治徳久、安江正明、白木かず子(旧姓伊佐治)  
安江真実、安江当志子  
【上親田】大坪佳子  
【中通】安江浩行、村雲草、今井鶴代、田口浩子  
【神付】早瀬武司  
【中谷】今井多喜一、田口雅樹

【陰地】桂川一喜、河村政春  
牧野友紀央、村雲成男、安江透  
安江孝枝、安江ちとせ、安江ナ  
ルミ、今井友美  
【柄山】馬渢忠幸、加藤喜幸  
伊藤美喜子、林洋子  
【黒瀬】桂川孝裕、熊沢一造  
安江良和、安江義人、桂川光代  
高井恵理子

【宮代】 今井隆良、安江良至  
【宮代】 安江敦子

広報ひがししらかわ

# 79人 村の守りへ 新たな誓い

## 消防団出初め式

村消防団出初め式が、一月五日午前九時三十分から東白川中学校校庭で行われました。

井保都▽部長 安江茂、安江定  
武、古田啓次郎  
分團長 安江勝彦▽部長 安江

田口真澄、今井光、安江寛、今  
井守、今井日出明、今井大作、  
古田義英、安江一成、島倉正明  
村雲初夫、熊沢政尚、安江正隆  
安江裕策、安江裕尚、安江正太  
安雅信、安江庄三、松岡良典  
今井忠春、公岡安幸

## 通信制入学のご案内

（大明神）――訂正とおわび――  
先月号の東白川婦人会の寄  
付金二万円は、社会福祉施設  
指定となつておりましたが、  
社会教育費指定でした。訂正  
しておわびいたします。

▽分團長 村雲和男、今井照夫  
〔県消防協会長功績章〕▽副  
分團長 安江勝彥  
〔同勤労章（二十年）〕▽副  
團長 中島潮己  
〔同（十五年）〕▽副團長

〔村長表彰〕▽分團長 田  
巽信 ▽副分團長 古田勝彦、安  
江竹司、大坪晴生 ▽部長 大坪  
恭二、今井和好、今井和義  
〔同感謝狀〕▽防火水槽用地  
提供 安江文吾（下親田）、植  
康夫（大明神）

田員、安江政敏、林雲昭、安江司、古田公平、安江勲、安江利英、安江健二、安江正徳、吉田茂樹、今井信好、安江弘企、安江明雄、田口和志、樋光一、今井清高

▽学習方法一月一、三回曜日に出校して指導を受け、あとは家で粘り強く学習して添削指導を通じて単位をとります。

▽入学資格①中卒の人一書  
類選考②高等小学校卒業者な

はんと  
ど中学校を卒業していな  
人——簡単な試験で③高校中

退者一すべてにとった単位を生かし書類審査で編入学。費用は一ヶ月～二ヶ月

△費用——約一万円（一年半）  
△出願期間——三月十日から四月八日まで。

四月六日まで

岐阜市大納場三一  
2658  
2522121 (岐阜県立華陽  
高等学校・通言別)

高等生物

苗等三相、道仁備

1

山口直視  
〔郡消防協会長功績章〕▽分團長 安江成喜▽副分團長 今井保都▽部長 安江茂、安江定武、古田啓次郎  
〔同勤労章（十五年）〕▽副分團長 安江勝彥▽部長 安江定

(團長表彰(功績章) ) ▽班長  
小池正憲 ▽團員 村雲映大  
安江修次、村雲正幸、田口和道  
田口真澄、今井光、安江寛、今  
井守、今井日出明、今井大作、  
古田義英、安江一成、島倉正明  
村雲初夫、熊沢政尚、安江正隆  
安江裕策、安江裕尚、安江正太

（大明神）――訂正とおわび――  
先月号の東白川婦人会の寄  
付金二万円は、社会福祉施設  
指定となつておりましたが、  
社会教育費指定でした。訂正  
しておわびいたします。

税の窓

## 申告はお早めに 還付を受けるための

昭和五十七年分所得税の確定

申告の期間は、五十八年二月十六日から三月十五日までです。しかし、税金の還付を受けるための確定申告は、二月十六日以前でも受け付けています。

どんな場合に確定申告をすれば税金が戻るのか、説明してみましょう。

▽予定納税をしたものの。休業や廃業、事業不振などのため所得が前年より大幅に減った場合。

このほか、サラリーマンのかたが、医療費控除や住宅取得控

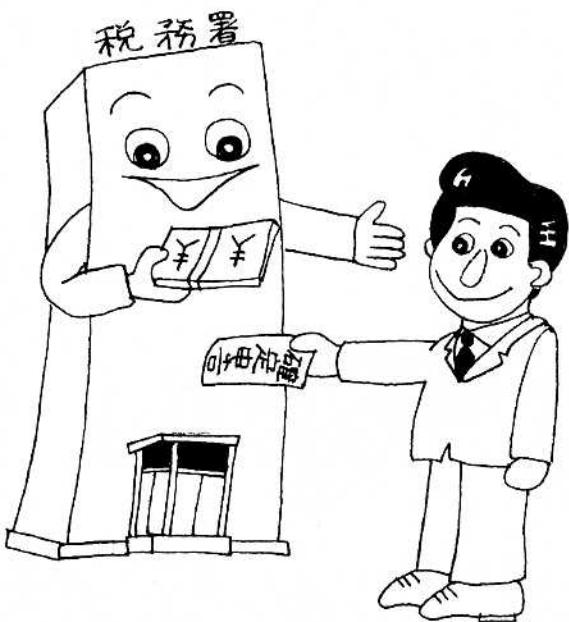
除を受けるために還付申告をする場合には、簡単な申告用紙がありますので、記載例などを参考にしてご自分で記入して提出してください。

また確定申告をするとき、いろいろな控除を受けるためには、領収書などの書類を申告書に添付したり提示しなければならない場合がありますのでご注意ください。

このほか詳しい点は、関税署(05752②2233または、役場の税務係(有線2141、2120)へお気軽におたずねください)。

▽原稿料や利子、配当などの収入があつて、それらを含めた全体の所得があまり多く無いため、源泉徴収税額が納め過ぎに就職しなかつたため年末調整を受けている場合。

▽年の中途で退職し、その後本人や家族の病気やけがなどによつて多額の医療費を支払つた場合③マイホームを新築したり、新築住宅または中古住宅を購入した場合――などで、一定の要件に該当するとき。



## 暮らしのカレンダー

### ※公民館講演会

- ・期日 2月6日
- ・時間と場所  
五加公民館 10:30~正午  
越原公民館 13:30~15:00
- ・対象者 一般住民
- ――講師は元・笠松刑務所法務教官の後藤久子さんを予定しています。多数ご聴講ください。

### ※妊婦学級

- ・とき 2月9日 9:30
- ・ところ 村民センター
- ・対象者 妊娠後期の人
- ――貧血対策、歯科衛生について学習します。丈夫な赤ちゃんを産むために、ぜひご出席ください。

### ※村民親ぼく剣道大会

- ・とき 2月13日 9:00
- ・ところ 東白川中体館
- ・対象者 小、中学生、一般
- ――初心者のかたもふるってご参加ください。

### ※中央婦人教養講座

- ・とき 2月18日 9:30
- ・ところ 村民センター
- ・対象者 講座生
- ――スポーツテストと閉講式を予定しています。

### ※乳児相談

- ・とき 2月23日 13:00
- ・ところ 母子健康センター
- ・対象者 生後3~5ヶ月児とその母親

### ※冬の健康相談

- ・とき 2月7日~25日
- ・ところ 村内19会場
- ・対象者 全村民
- ・内容 体重測定、血圧測定および健康相談(生活指導)

――この行事は、2月の成人病予防月間にちなんで計画されたものです。寒い期間を健康で乗り切るため、家族そろってお出かけください。

### ※麻しん(はしか)予防接種

- ・とき 3月2日 13:30
- ・ところ 東白川病院
- ・対象者 昭和53年3月1日~56年2月28日生まれの未接種者と未リ患者

## 今月の図書



細香日記（写真左）

南条範夫著

大垣藩医、江馬蘭斎の娘、細香の生涯を頼山陽とのかかわりを軸に描いた作品です。

細香は、幼少から詩文に書画に非凡な才を示し、やがてその美眉とともに名声は四隣に聞こえました。しかし、詩人頼山陽との出会いは彼女の運命を大きく変えました。彼女を妻にと望みながら、反対されると別の女性と結婚してしまった薄情な男、頼山陽。それでもなお、結婚することなく、死ぬまで一人の男を愛し続けた細香の一生は悲しい女のさがといえます。

## 木槿の花

山口瞳著

表題作「木槿の花」のほか「この嘘ホント?」「一粒で三度」など数編からなるエッセイです。

「木槿の花」という章は、昭和56年台湾の飛行機墜落事故でなくなった向田邦子さんについて書いたものです。彼女は作者の敬愛してやまぬ友でした。短い期間に数々の作品を発表した彼女を『木槿の花』のようだといい、いたずらっぽい少女と、快活な少年と人生の達である中年女性とが同居している人であったと追想しています。

## 村の文化財 ⑨

## 天正検地帳

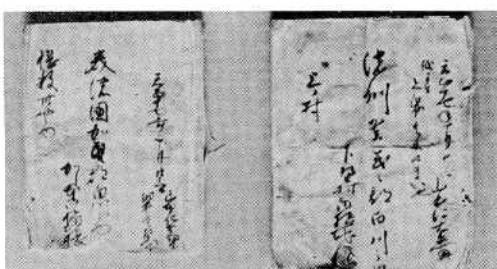
52年1月18日指定

今日は田畠などを測量するには、主として平板測量によつて正確な面積や形を縮尺図で表わすことができます。しかし、四百年も昔の天正時代にはこのような測量技術は無く、繩や竹さおに寸法を入れて田畠などの測量をしていました。

検地帳とは、一口に言つてそしめた方法で測量した調査表のことです。ただ、単に面積を出しきでなく、収穫高や土地の耕作者、土地のランク付けなども調査の対象となっています。

◆◆◆◆◆  
天正十年（一五八二）、豊臣秀

検地を行つた役人には秀吉の直臣が任命されたと言われますが、実際その任に当たつたのはその手代であつたと思われます。神土村では、三十七戸の検地が天正十七年十月二十二日から二十四日に行われています。

◆◆◆◆◆  
村に残つてゐる検地帳は二冊

交告泰郎さん所蔵の天正検地帳

## 今月の料理



## 豆乳アルカリスープ

豆乳が体に良いとわかっていますが、飲みにくいからといわれるかた、一度料理に使ってみてはいかがでしょう。まずはボタージュに。

【材料】四人分 豆乳一kg、バター大さじ四杯、じやが芋中一個、パセリみじん切り大さじ二杯、クリトン大さじ四杯、固体スープ一個、塩、こしょう少少。

## 【作り方】①じやが芋は皮をむいてすりおろします②なべで

バターを熱し①をいため、塩、こしょう、溶かしたスープを入ります。③温めた豆乳を少しずつ注ぎ入れ、沸騰したら火を止めます④スープ皿に入れ、バセリのみじん切りとクリトンを入れて温かいうちに食べます。（クリトンとは食パンを一センチくらいに切り、油でカリと揚げたものです）

※豆乳は、植物性たんぱく質に富み、ビタミンEやミネラルが豊富で、貧血、冷え症、便秘、ライラなど解消してくれる健康飲料として最近人気が始まっています。

今回は昭和五十二年一月、村の有形文化財に指定された天正検地帳（柏本・交告泰郎さん所蔵）を紹介します。

一部の地方では、それ以前に検地が行われていたようですが、全國一齊に徹底して行つたのは天正十年に始まるこの天正検地といわれるものです。ちなみに秀吉は太閤（たいこう）であつたことから、太閤検地とも呼んでいます。

検地を行つた役人には秀吉の直臣が任命されたと言われますが、実際その任に当たつたのはその手代であつたと思われます。神土村では、三十七戸の検地が天正十七年十月二十二日から二十四日に行われています。

村に残つてゐる検地帳は二冊で、同月二十三日に柏本村十三戸、下野村十一戸の検地を行つたことが刻明に記録されており、慶長検地帳と並んで貴重な歴史資料となっています。



## カメラの目

びっくり重さ6キロ

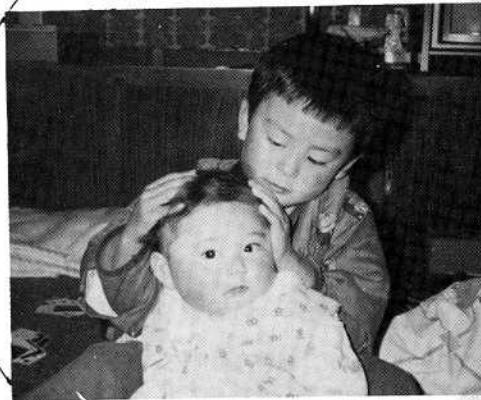
大明神の安江英樹さん  
方でジャンボダイコン

大明神の安江英樹さん方で、長さ65cm、太さ44cm、重さ6kgのジャンボダイコンが収穫されました。

このダイコン、昨年9月に種をまき、12月初めに漬け物用にと収穫された約50本のうちの1本。一般的に八百屋さんの店頭で扱われているものは1kgから1.5kgといわれますから、その大きさにあらためて驚かされます。

写真は、安江英樹さん方で収穫されたジャンボダイコン。

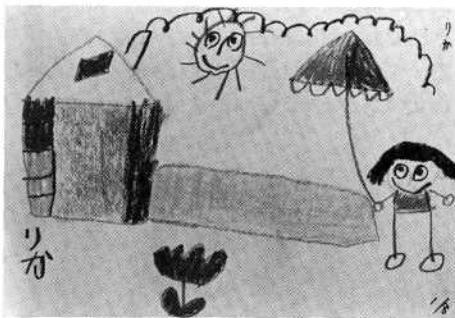
島倉敦(あつし=52.10.5生)ちゃん  
と昌史(まさし=57.6.14生)ちゃん兄弟



下野 島倉計昭・愛子さんの長男、二男

すくすく  
育て

## 子どもの作品



たこあげ

やすえ りか(五歳||大明神)  
(越原保育園)



あなたの作品をお寄せください。  
初心者、とにかく若い人たちの投稿を歓迎します。  
毎月末までに、神土田口良三宛に出してください。

喜の祝ひして呉れると言ふ子供らの髪にも光る白き幾すじ  
水は石に風は木に語り冬の山夕べ静けく無事に暮れゆく 田口 圭一  
暁方を行き交ふ下駄の弾む音宿の湯槽に浸りつづく 安江 香  
去年の秋傷めしひじは折々に痛みを覚ゆ師走に入りて 安江 香  
年毎に北の魚をあれこれと娘が心づくし暮に届きぬ  
カセットに軍歌聞く夫その側に亡き兄偲び胸熱く居り  
正月の庭にはづみて孫達は晴着のままで縄飛びをする  
誕生日祝ふてくれる孫の声電話なれども面映ゆきかな  
青く澄む師走の空は凍ての色やがては風に雪の舞ひ来む  
歌合戦ききつ我は酔ひ潰れ寝覚めの耳に初太鼓鳴る 伊藤 美枝  
新春をケートホールに親しみて雪なき好天の空おそろしき  
丘の上のホームの庭に老人ら語らふ背に冬日みなぎる 今井 惣十  
除夜の鐘櫛を正して聞き居れば早や初詣の人の声する  
ひたすらに励みて三十余年後に敗戦国の現実を知る 安江と志江  
つたなくて老いし一生は思はずろ歳せまる夜の松の風聴く  
選者からおねがい。原稿は必ず月末までに送ってください。ハガキで  
尚、新しい人たちの出詠を待っていますから、どしどし送って下さい。

山川 潤

安江と志江

三戸 きり

安江すみよ

守平

田口 一枝

伊藤 重雄

安江 澄

田口 一枝

伊藤 美枝

安江 香

田口 一枝

伊藤 重雄

安江 香

田口 一枝

伊藤 重雄

安江 香

田口 一枝

伊藤 重雄

安江 香